

多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)を発行しました

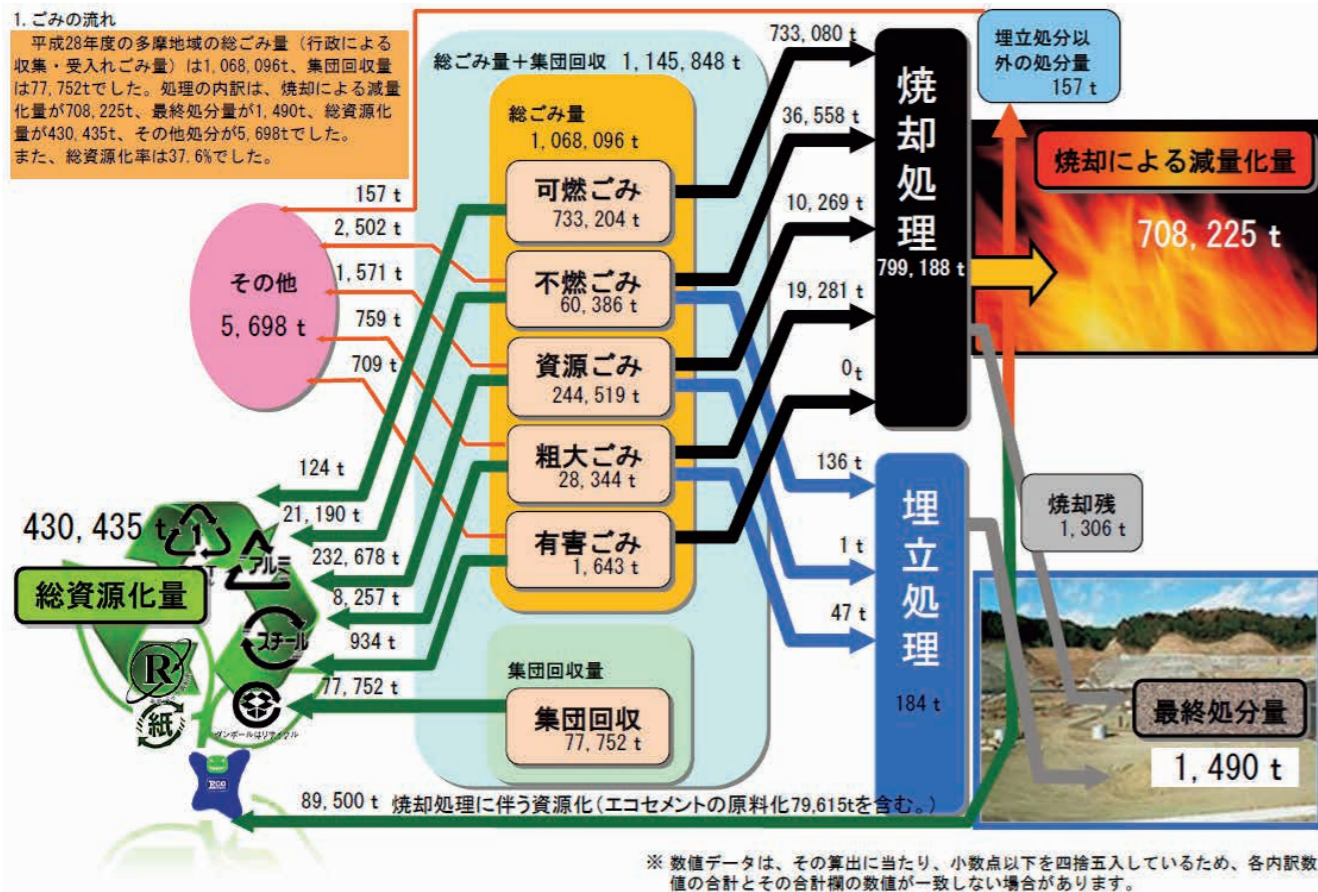
当調査会では毎年度、多摩地域30市町村のごみ処理の実績をまとめ、「多摩地域ごみ実態調査」として発行しています。このたび、平成28年度の統計ができあがりまして、概要をご紹介します。

「多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)」の報告書は、当調査会のホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードすることができます。

- ・「多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)」 全54ページ
 - ・「多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計 概要版)」 全18ページ
- なお、以前の報告書(平成18年度～平成27年度統計)についても、ダウンロードすることができます。ぜひご利用ください。



▶ 平成28年度 多摩地域30市町村のごみ処理の実績



総ごみ量

平成28年度の総ごみ量(家庭ごみ及び事業系ごみ)は1,068,096tとなり、前年度に比べて2.0%減少しました。主な内訳を見ると、収集ごみ量(主に家庭ごみの量)は903,260tで前年度に比べて1.3%減少し、持込ごみ量(主に事業系ごみの量)は164,836tで前年度に比べて5.7%減少しました。

1人1日あたりのごみ量

1人1日当たりのごみ量(集団回収[※]量を含む)は747gとなり、前年度に比べて2.4%減少しました。
※町会・自治会等の地域の団体が、紙類やびん等の資源物を回収し、直接回収業者に引き渡す自主的な資源回収

ごみの資源化

平成28年度の総資源化率(リサイクル率)は37.6%で前年度に比べて0.1ポイント増加し、ごみ資源化率は33.0%で前年度に比べて0.1ポイント増加しました。

◆ごみの資源化の状況を示す総資源化率(リサイクル率)とごみ資源化率は、次の計算式で求めています。

$$\text{総資源化率(リサイクル率)} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量}^{(*)} + \text{収集後資源化量}^{(**)} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

$$\text{ごみ資源化率} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

※1 分別収集や拠点回収を行った資源ごみ(缶、びん、ペットボトル等)の量

※2 中間処理施設において、不燃ごみや粗大ごみ等から選別された資源物の量とエコセメントの原料に使用した焼却灰の量

最終処分量

最終処分量は1,490tとなり、前年度に比べて15.7%減少しました。内訳を見ると、焼却処理施設からの焼却残灰が1,306tで前年度に比べて3.3%減少、埋立処理された不燃残さ(不燃ごみ等を破碎選別したもの)が184tで前年度に比べて55.8%減少しました。

※1 平成29年8月に発行した冊子の内容に修正の必要が生じました。今月以降に、修正後の冊子を発行する予定です。なお、本記事は修正後の内容を反映しております。(平成29年9月末現在)

※2 ホームページへの掲載は、今月以降を予定しています。

笑いが止まらない2つのジャンボ!

200のジャンボ同時発売

5億円

5ハロウィンジャンボミニ千万円

10月11日(水)発売 売り切れ次第発売終了!

●1等前後賞合わせて5億円(1等3億円/前後賞各1億円)

●1等前後賞合わせて5千万円(1等3千万円/前後賞各1千万円)

発売期間:10月11日(水)~10月31日(火)

抽せん日:11月9日(木)

各1枚300円

2017年新市町村振興宝くじ

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。